

久万高原町 社協だより

第 21 号

平成23年11月

《2011》

久万高原町社協の「ロゴマーク」「イメージキャラクター」ができました。

ロゴマーク



(作者) 古用 優芽さん (柳谷中学校 2年生)



(作者) 福住 真帆さん (久万中学校 1年生)

イメージキャラクター



特集：第 1 回久万高原町福祉フェスティバル

編集・発行／社会福祉法人 久万高原町社会福祉協議会

〒791-1201 愛媛県上浮穴郡久万高原町久万 45 番地 2 (本所)

本所 TEL(0892)21-0800 FAX(0892)21-3040 面河支所 TEL(0892)50-1833 FAX(0892)50-1836
美川支所 TEL(0892)56-0750 FAX(0892)56-0166 柳谷支所 TEL(0892)54-2941 FAX(0892)50-1417

特集：第1回久万高原町福祉フェスティバル開催

地域福祉の推進にご活躍されている方々や、福祉関係機関及び福祉関係諸団体等が交流をとおり、更なる連携を目指すことを目的として、平成23年10月9日、久万高原町産業文化会館において、河野県議会議員様、高野久万高原町長様ほか多くのご来賓をお迎えして、第1回久万高原町福祉フェスティバルを開催しました。



オープニングでは久万中学校と上浮穴高等学校ブラスバンド部の皆様の合同演奏、久万高原町社会福祉協議会ロゴマーク・キャラクター表彰が行われました。

その後は、関係諸団体様によります、芸や唄などの披露を行う「久万高原町得意技コレクション」、様々な福祉情報を分かりやすくお知らせする「久万高原町お知らせコレクション」を行いました。各協力団体様による工夫を凝らした楽しい発表に、会場からは多くの拍手がありました。

得意技コレクション



【一生懸命な合唱が心を癒します】



【笑いあり涙ありの白鳥の湖】



【ご利用者さんと一緒にひげダンス】

あっぷるハウスやパステルくらぶの方々による出店ブース、老人クラブ女性部やいこいの郷の展示コーナー非常食の試食体験コーナーなど多くの人で賑わいました。

出店・展示コーナー



【あっぷる喫茶】



【老人クラブ女性部】



【非常食試食体験】

炊き出し試食の実施



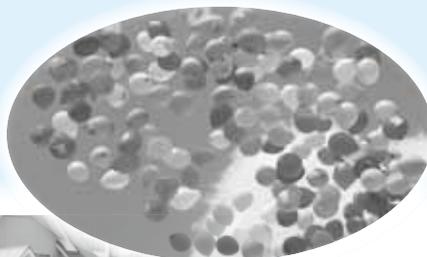
大規模災害を想定し、地域で手に入りやすい身近な食材を用いて、炊き出し試食を行いました。久万高原町ボランティア連絡協議会各支部の方や地元ボランティアの方々が、朝早くから炊き出し調理して下さり、来場者の皆様に提供していただきました。試食された皆様からは「どの炊き出しも本当においしいです。」といったコメントをいただき、炊き出し試食は大盛況でした!!

地域福祉推進応援隊の発表



生活介護支援サポーター養成講座受講者のみなさんはこの度『地域福祉推進応援隊』として、講座で学んだことを活かし、クイズや手芸などの発表をしました。

また受講者より東日本大震災の被災地に向けてエールを送りたいといった思いから、伝えたいメッセージをそれぞれが出し合い応援歌を作り、社協職員と共に今回の福祉フェスティバルにて発表しました。



久万高原町から
東北まで届いて
ほしいな！！



そして最後に参加者の皆様より、東日本大震災被災地復興の想いをメッセージ風船に託し、風船を飛ばしてフィナーレを迎えました。

福祉関係者の皆様をはじめ多くの方のご協力により盛大に開催することができましたことを心より感謝申し上げます。

『社協だより表紙紹介』～久万高原町社会福祉協議会ロゴマーク・キャラクター表彰～

本会がホームページやパンフレット等に掲載して、本会の事業実施の充実とイメージアップを図ることを目的に、町内の各中学校生徒と上浮穴高等学校生徒を対象として、ロゴマークとイメージキャラクターを募集したところ多数の応募があり、厳正なる選考の結果、下記のとおり受賞者が決定したため、今回の福祉フェスティバルにて受賞者の表彰が行われました。

【受賞者のコメント】

久万高原町の象徴である森林をイメージするグリーンをバックに赤ちゃんからお年寄りまで大切に守る社協の福祉の心をハートにし、それを抱くような形にしました。ポイントは明るく、親しみやすいイメージにしました。

(作者) 古用 優芽 さん (柳谷中学校)

愛と心のネットワークの「愛と心」をハートとイメージし、羽をつけたハートの天使にしました。また「老若男女が手を取りあって暮らしていける町にしたい」という思いをこめて、二人の天使が手をつないでいるイメージにしました。

(作者) 福住 真帆 さん (久万中学校)

優秀賞表彰者

大野 亜美さん 梅木 幸太さん 中里 凜さん 酒井 春菜さん
(上浮穴高等学校) (美川中学校) (上浮穴高等学校) (久万中学校)



久万高原町地域福祉活動計画 第2次ともに輝く元気プラン（ダイジェスト版）



お手元に届きましたか？
読んでいただけたでしょうか？



計画策定の背景及び趣旨

久万高原町社会福祉協議会は、平成17年度第1次久万高原町地域福祉活動計画を策定し、「温もりと安らぎのある住みやすい福祉のまち みんなでつくる久万高原」を基本理念に、地域福祉を推進すべく事業を行ってきました。

策定から5年が経過する中、各福祉施策の変更や地域福祉のあり方、著しい少子高齢化など地域生活における課題も刻々と変化してきています。

6年目を迎えるにあたり、これからの進むべき方向性や取り組んでいく内容について新たに明確にする必要が求められており、第2次久万高原町地域福祉活動計画を策定致しました。

地域のご要望に お応えします！

久万高原町社会福祉協議会では、例えば「地域福祉活動計画について説明してほしい」「認知症について知りたい」「地域で介護教室を行ってほしい」など、ご要望に応じて身近な地域の中で講習会等を実施致します。今回策定しましたプランにおいてもそのことを明確にしています。

どうか、お気軽にお声がけ頂きますようお願い致します。

策定の方法と経過

久万高原町
地域福祉活動計画
第2次ともに輝く元気プラン
ダイジェスト版



平成23年7月
久万高原町社会福祉協議会

(第2次ともに輝く元気プラン)

住民や各福祉関係機関団体の協力をえて
・アンケート調査
・ヒアリング調査
を実施。

久万高原町社会福祉協議会
(意見集約・策定案検討会の開催)

地域福祉活動計画策定委員会
(策定案の調整)

久万高原町社会福祉協議会
理事会・評議員会
において策定案の可否決定

住民の皆様へプランの公表

支所からのお知らせ 面河・美川デイサービス合同「敬老会」

今年も面河・美川デイサービスでは、10月3日～7日の期間に「敬老会」を開催しました。



○華麗な踊りを披露してくださった「志津華会」の皆さん。利用者の皆さん感激！



○衣装・踊りともに魅力的な「婦人会」の皆さん。連合婦人会美川分会・中組婦人会の方が参加。



○「伊予民謡研究会ひまわり」の皆さん。利用者の皆さんと一緒に踊る場面も。



○息ぴったりの踊りを披露してくださった「輪の会」のお二人。踊りに皆さん見入っています！

その他、津軽三味線を披露してくださった「由謡会」の皆さんの力強く息の合った演奏など、町内外で活躍されているたくさんのボランティアさんにご協力いただき、楽しい敬老会になりました。利用者さんの中には、踊りや扇子さばきに合わせ手を振ったり歌ったりと、心はボランティアさんと一緒に舞台上に上がっている方もおられました。

ボランティアの皆さんに厚くお礼申し上げます。

また、社協各デイサービスでは施設見学や体験利用もできますので、お気軽にご相談ください。

ウィンターボランティア・キャンペーン 2011

ココロもカラダも暖かくなるボランティアみんなでしませんか？

皆さんが自然にボランティア活動に参加できるよう、今年度もウィンターボランティア・キャンペーン2011(12月～1月)が実施されます。

キャンペーン期間中は、さまざまな種類・分野のボランティアが募集されています。気になるボランティアを見つけたら、ぜひ活動に参加してみませんか？

自分の意志で、無理せず、楽しく、できることから始めてみましょう！

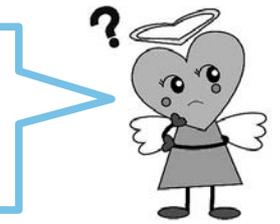
【お問い合わせ先】愛媛ボランティアネット <http://nv.pref.ehime.jp/>

★久万高原町社会福祉協議会 ★愛媛県県民活動推進課 TEL089-912-2305



「ディスコン」をご存じですか??

赤と青の円盤(ディスク)を投げ合い、目標(ポイント)に近づけて競うゲームです。年齢を問わず、気軽に場所も問わず行え、健康づくりや介護予防、仲間作りにぴったりのゲームです。



町内の方々が、いつでも・どこでも・すぐに行うことができ、青少年から高齢者まで広く楽しんで頂けるスポーツの普及を目的として、10月27日(木)久万B&G海洋センターにて

第1回久万高原町社会福祉協議会杯ディスコン大会が行われました。

参加者数48名16チームとたくさんの方々に集まって頂き、楽しく熱戦を繰り広げていきました。

● ディスコン競技の様子 ●



ポイントを狙って!



ナイスフォーム!



距離測定は正確に!



どちらの色が近いかな?

★ ★ 表 彰 式 ★ ★



表彰式
優勝カップ・表彰状寄与



優勝 ささゆりチーム
高橋恵さん・西岡和夫さん・古田寿清さん



おせんべいメダルで記念撮影
あとで美味しく食べて下さいね★

参加者の方々にはディスコンを各地域で普及していただきたいと思います。第2回のディスコン大会にふるってご参加ください。ディスコンセットは社協でいつでも貸出いたします。



心配ごと相談・弁護士法律相談・司法書士法律相談

開催予定日カレンダー

※下記、各種相談ごとの日程については、場合によって変更されることがあります。
事前に久万高原町役場防災行政無線放送でお知らせします。

12月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	△5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	○20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	△5	□6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	○20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	△6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	○20	21	22	23	24	25
26	27	28	29			

3月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	△5	□6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	○21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

○印・・・心配ごと相談

△印・・・司法書士法律相談

□印・・・弁護士法律相談

弁護士法律相談、司法書士法律相談については、
予約が必要ですので事前にご連絡ください。

弁護士法律相談 社協本所 ☎21-0800
司法書士法律相談 社協美川支所 ☎56-0750

平成23年度「団塊の世代の老い方・死に方・支え合い方」



セミナー

受講者募集

自分や地域の方々が認知症や寝たきりになっても、最期まで安心して暮らすことができる、地域づくりについて一緒に考えましょう！

回	月 日	時間	内 容	開催場所
1	平成23年 11月26日(土曜)	13:30~ 16:30	「最期まで安心して、楽しく暮らせるために」 ～今、自分たちが考えておかなければならないこと～ 講師:近藤 誠 氏	美川農村環境改善 センター大ホール
2	平成23年 12月23日(金曜)	13:30~ 16:30	「上手に老いる(死ぬる)ために」 講師:石黒秀喜 氏	美川農村環境改善 センター大ホール
3	平成24年 1月21日(土曜)	13:30~ 16:30	「みること」と「みられること」 —死を特別視にしないために— 講師:鳥海房枝 氏	美川農村環境改善 センター大ホール
4	平成24年 2月25日(土曜)	13:30~ 16:30	「支え合いとは」 —地域で老い、死ぬること— 講師:中矢暁美 氏	美川農村環境改善 センター大ホール

訂正とお詫び

社協だより第20号、8項「ありがとうのちから」において
氏名に誤りがありました。深くお詫び申し上げますととも
に訂正させていただきます。

誤……八塚 理都子様

正……八塚 吏都子様

ありがとうのちから



石田 春菜さん・真祐さん (久万地区 上畑野川)

「ただいま。」「おかえり。」学校から帰ると、じいちゃんとはあちゃんがむかえてくれます。おなかをすかして帰ってくるだろうと、ふかしいもや柿をむいて待っていてくれます。

いつもいつも私達のことを見守っていてくれてありがとう。そんなじいちゃん、ばあちゃんのが大好きです。

お父さん、お母さんありがとう。

お父さんは朝早くから夜遅くまで働いて、家族のために新鮮でおいしいお米や野菜を作ってくれます。お母さんは、お父さんの作った野菜で毎日美味しい料理を作ってくれます。家のことで忙しいのに私の送り迎えもしてくれて、一生懸命私のことを考えてくれます。私は家族が大好きです。体に気を付けて長生きしてください。



佐野 優子さん (久万地区 菅生)

お父さん、お母さんにありがとう。

まだまだ私は子どもなので、素直に「ありがとう」が言えません。いつも話す言葉とは裏腹だけど、本当はとても感謝しています。だから、この場をかりて言わせてもらいます。「お父さん、お母さんありがとう。」20歳になっても、社会人になった時にもありがとうを言っても全てに対してのありがとうにならない気がするから、私が二人と同じ親になった時に、もう一度ちゃんと言わせてください。これからも元気でね。



中村 晃大さん (久万地区 久万)

皆さんの参加で作り上げていくページができました。

あなたを支えてくれた大切な言葉・・・そんな素敵な『ありがとう。』をこのページを使って大切な人に伝えてみませんか。社協にご連絡いただければ職員がお話をお聞きします。ペンネームでのご投稿でもかまいません。ご連絡お待ちしております。

「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに、今年度も10月1日より赤い羽根共同募金でおなじみの「共同募金運動」が始まっています。お寄せいただいた募金は福祉推進のために役立たせて頂きます。

「共同募金」に、ご協力お願いいたします。

